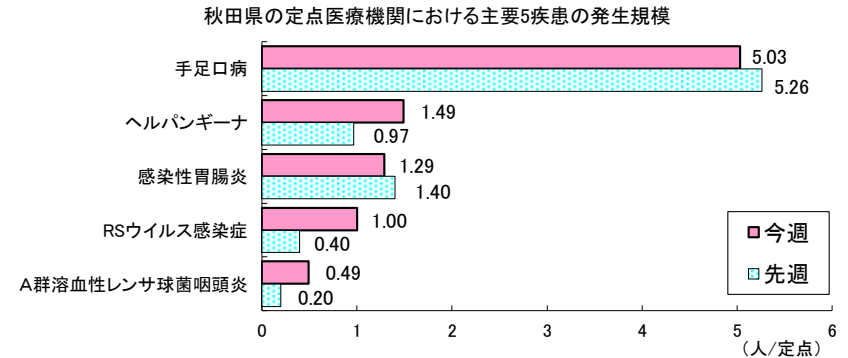




**【第35週の発生動向】**

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

- 手足口病は、県全体で4%減少しています。保健所別では、北秋田、大仙で増加、大館で同規模、秋田市、能代、秋田中央、由利本荘、横手、湯沢で減少しています。
- ヘルパンギーナは、県全体で1.5倍に増加しています。保健所別では、北秋田、能代、由利本荘、大仙、横手、湯沢で増加、大館で同規模、秋田市、秋田中央で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で8%減少しています。保健所別では、北秋田、能代、横手で増加、大仙、湯沢で同規模、秋田市、大館、秋田中央で減少しています。



**発生報告**

第34週(先週)の秋田中央保健所及び秋田県における水痘と手足口病の定点あたり患者数に修正があります。

**＜五類定点対象疾患(週報)＞**

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減			
RSウイルス感染症	0.40	1.00	↗	1.00	2.29	↗		0.75	↗		1.00	↗			0.25	↗	0.25	1.00	↗					1.33	2.67	↗	0.50	0.25	↘	
インフルエンザ	0.04		↘	0.09		↘	0.14		↘																					
咽頭結膜熱	0.11	0.06	↘	0.14	0.14										0.50	↘	0.25		↘									0.25	↗	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.20	0.49	↗	0.29	0.57	↗	0.25	0.50	↗		0.50	↗			0.25	↗		0.50	↗	0.50	0.75	↗	0.33	0.33		0.25	0.75	↗		
感染性胃腸炎	1.40	1.29	↘	2.14	1.14	↘	1.75	1.50	↘		1.00	↗	3.67	4.33	↗	2.00	1.75	↘			1.25	1.25	0.33	0.67	↗	0.50	0.50			
水痘		0.03	↗																									0.25	↗	
手足口病	5.26	5.03	↘	5.57	4.57	↘	7.50	7.50		1.50	6.50	↗	7.00	6.67	↘	8.00	3.75	↘	4.75	2.50	↘	2.50	8.75	↗	4.33	1.67	↘	4.25	4.00	↘
伝染性紅斑	0.09	0.11	↗	0.43	0.29	↘					0.50	↗		0.33	↗															
突発性発しん	0.29	0.14	↘	0.57		↘	0.25	0.25		0.50	0.50								0.25	0.25		0.50	0.50				0.25		↘	
ヘルパンギーナ	0.97	1.49	↗	1.57	1.43	↘	1.25	1.25			1.00	↗	3.00	3.33	↗	1.75	1.00	↘		1.25	↗		1.75	↗		1.67	↗	0.50	1.00	↗
流行性耳下腺炎																														
川崎病	0.06	0.03	↘										0.67		↘				0.25	↗										
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.43		↘	1.00		↘				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.13	0.25	↗	1.00	1.00											*	*					1.00	↗							
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。  
 「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大館保健所管内から1人、秋田中央保健所管内から2人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から3人、能代保健所管内から1人、秋田中央保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-34週		35週
		全国	秋田	
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ベスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	13963	70	3
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	3		
	細菌性赤痢	58	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	2204	19	6
	腸チフス	26		
	バラチフス	11		
四類	E型肝炎	344	3	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	312	7	
	エキノкокクス症	14		
	黄熱			
	オウム病	12		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	70		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
タニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	1週-34週		35週
		全国	秋田	
四類	チクングニア熱	21		
	つつが虫病	81	5	
	デング熱	262	1	
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	140		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	35		
	野兔病			
	ライム病	8		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	1			
レジオネラ症	1433	10	1	
レプトスピラ症	8			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アmeerバ赤痢	559	4	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	213		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1339	12	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	53		
	急性脳炎	603	4	
	クリプトスポリジウム症	12		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	119	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	618	3	
	後天性免疫不全症候群	767		
	ジアルジア症	31		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	389	2	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	30		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2287	12	
	水痘(入院例に限る)	318	8	
	先天性風しん症候群	3		
	梅毒	4279	15	
	播種性クリプトコックス症	97		
	破傷風	85	2	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	49			
百日咳	11112	127	1	
風しん	2134	3		
麻疹	676			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	19			

トピック

<チクングニア熱の輸入症例が増えています>

第34週までに、チクングニア熱の患者が全国で21人報告されています。特に6月以降、ミャンマーが感染地域と推定される輸入症例が複数報告されています。これまで国内での感染症例はありませんが、今後流行地域からの渡航者の増加も見込まれることから、注意が必要です。

■感染経路・流行地域

蚊(ネッタイシマカ、ヒトスジシマカ)が媒介する感染症で、ヒトからヒトに直接は感染しません。アジア、アフリカ、中南米等の熱帯・亜熱帯地方にみられます。

■症状

潜伏期間は2~12日(通常3~7日)で、主な症状は発熱や関節痛です。この他、患者の約8割に発疹がみられます。関節痛は急性症状が軽快した後も、数週間から数ヶ月にわたって続く場合があります。

■予防

蚊に刺されないことが重要です。流行地域では、肌が露出する服装で野外を行動することは避けましょう。

\* 厚生労働省から8月26日にチクングニア熱やデング熱等の蚊媒介感染症に関する注意喚起がされています。次のホームページでも予防策等が紹介されていますので、参考にしてください。

※参考ホームページ

- 厚生労働省 チクングニア熱について  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000168030.html>
- 厚生労働省検疫所ホームページ (FORTH: For Traveler's Health)  
<https://www.forth.go.jp/news/20190409.html>
- ミャンマーからの輸入例として報告されたチクングニア熱の増加に関する情報  
<https://www.forth.go.jp/topics/20190821.html>

感染症の集団発生報告

手足口病の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
由利本荘市	松ヶ崎保育園	8/26	22名のうち 10名	6名のうち 1名	11名	8/4 ~ 8/26	発熱、発疹



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
手足口病	-	秋田市(4.57)、大館(7.50)、北秋田(6.50)、能代(6.67)、秋田中央(3.75)、由利本荘(2.50)、大仙(8.75)、湯沢(4.00)

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		